

第1回
クルーズ旅客に対する水上交通を活用した
下関港の魅力向上検討会

平成30年8月2日

下関市港湾局
九州地方整備局下関港湾事務所

1. クルーズ旅客に対する水上交通を活用した下関港の魅力向上検討会の設置

○クルーズ旅客の港から観光地への移動手段の一つとして、下関港長州出島から関門地区（下関漁港、唐戸、門司、小倉）等への水上交通の可能性を検討することにより、クルーズ旅客の満足度向上と下関港ひいては関門地区の更なる魅力向上を図ることを目的とする。

1) 構成員

観光・商工関係者（下関商工会議所、下関観光コンベンション協会、下関21世紀協会、北九州観光コンベンション協会）、交通関係者（関門地区旅客船協会、山口県バス協会、下関タクシー協会、JR西日本）、港湾関係者（下関港湾協会）、行政機関（山口県、下関市、北九州市、九州運輸局、九州地方整備局）

2) 主な検討内容

- 長州出島から関門地区等への水上交通として想定されるルート
- クルーズ旅客を対象とする水上交通が実現するための条件整理と対応方策等

3) 検討の進め方

- 第1回検討会（8月2日）
 - ・検討会の設置
 - ・長州出島から関門地区への水上ルート
- 第2回検討会（10月頃）
 - ・有識者による講演
- プレ調査（10～11月頃）
 - ・下関港から観光地等への海上二次輸送のプレ調査
- 第3回検討会（2月頃）
 - ・プレ調査結果の検証
 - ・次年度以降の進め方



2-1. 下関港のクルーズ客船寄港の動向

○下関港に寄港するクルーズ客船は、5万トン級以上は新港地区(長州出島)に寄港し、5万トン級以下は本港地区や東港地区(あるかぽーと)に寄港している。

新港地区(長州出島)

コンテナ及び中古自動車の新たな拠点で、クルーズ客船も受入



本港地区

国際フェリーが寄港する人物の国際交流拠点
クルーズ客船も受入



西山地区

製材の保管・配送拠点



【ゾーニング凡例】

- : 物流機能ゾーン
- : エネルギー関連ゾーン
- : 産業機能ゾーン
- : 交流拠点ゾーン
- : 緑地・レクリエーションゾーン



長府地区

臨海工業地帯に位置する生産物流拠点



東港地区・唐戸地区

海峡の景観を活かしたウォーターフロント空間
クルーズ船を受入



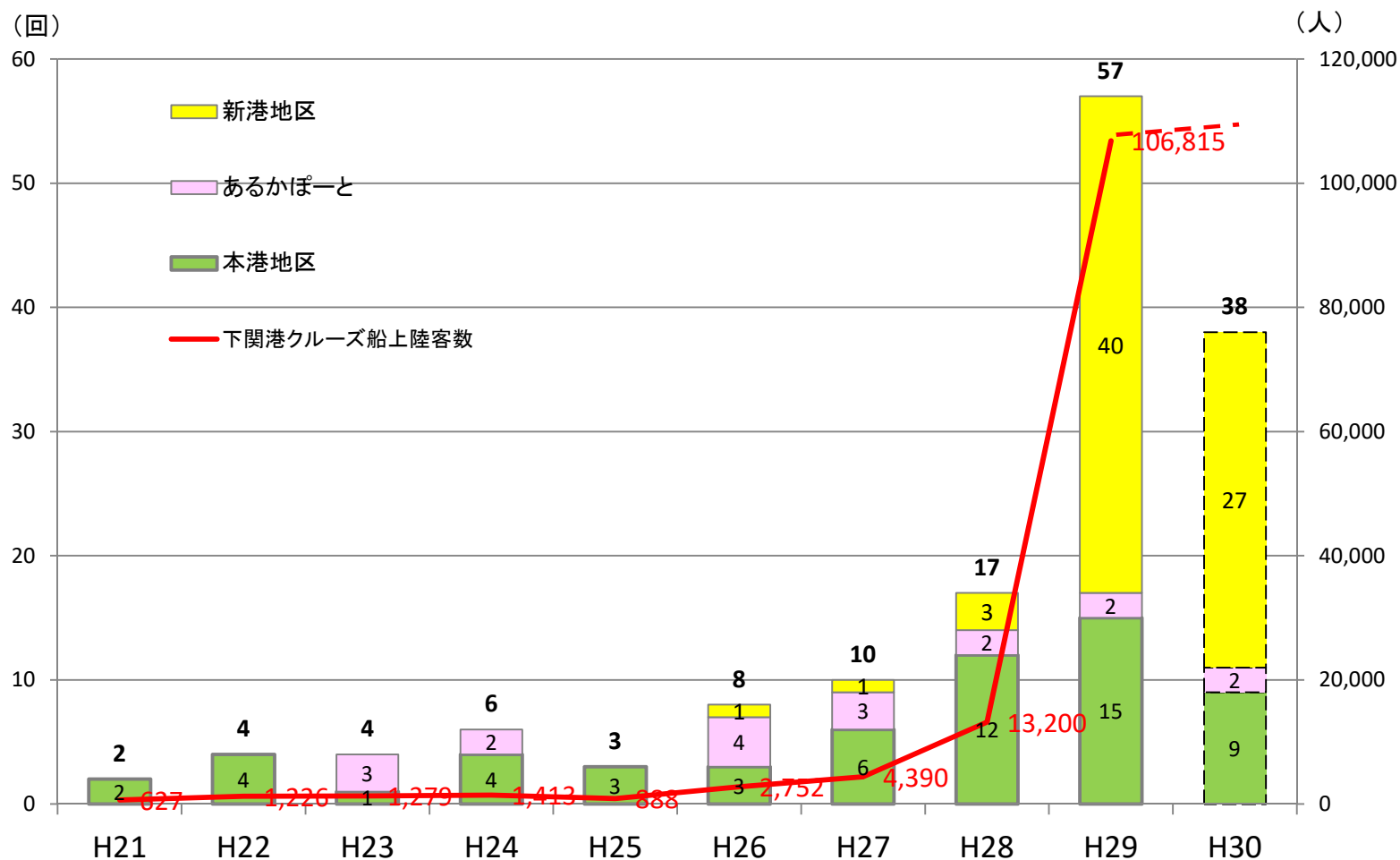
岬之町地区

コンテナターミナルの役目を終え、交流拠点として再編予定



2-1. 下関港のクルーズ客船寄港の動向

- 下関港へ寄港回数は年々増加、平成29年には過去最高の57回を記録。また、クルーズ客船による下関への上陸数も10万人を超える。
- また、平成30年4月には、長州出島において、世界最大級のクルーズ客船の寄港が可能な係留施設が完成し、大型クルーズ客船が多数寄港している。



2-1. 下関港のクルーズ客船寄港の動向

○一度に数千人規模のクルーズ客に対し、貸切バスやタクシー、シャトルバス(長州出島～下関駅～唐戸)で対応している。

平成30年のクルーズ客船寄港予定(平成30年7月6日時点)

下関市HPより

船名	総トン数(トン)	総乗客定員(人)	入港場所	入港予定日					
クァンタム・オブ・ザ・シーズ	168,666	4,905	長州出島	4/20	5/6	6/30	9/29		
オベーション・オブ・ザ・シーズ	168,666	4,905	長州出島	5/22	6/19	6/23	7/28	9/4	10/5
ノルウェー جان・ジョイ	167,725	4,620	長州出島	6/22					
MSC スプレディダ	137,936	3,929	長州出島	6/1	7/7	8/28	9/2	9/14	11/9
コスタ・セレーナ	114,261	3,780	長州出島	5/27	6/5	7/31	9/30	10/14	11/11
コスタ・フォーチュナ	102,669	3,470	長州出島	3/24	7/22	7/27			
スカイシー・ゴールデン・エラ	72,458	2,110	長州出島	2/20					
ぱしふいっくびいなす	26,594	620	あるかぽーと	8/13	9/21	9/23			
グローリー・シー	24,782	1,300	第1突堤	6/2	6/11				
チャイニーズ・タイシャン	24,427	927	第1突堤	4/11	10/11				
にっぽん丸	22,472	524	第2突堤	8/13					
カレドニアン・スカイ	4,200	114	20号岸壁	4/5	5/17	6/22			

今年初寄港のクルーズ客船

2-1. 下関港のクルーズ客船寄港の動向(寄港状況)



クルーズ客船寄港時の物流ターミナルの状況



岸壁背後の大型バス駐車状況



ターミナル外の駐車状況



シャトルバス運行状況

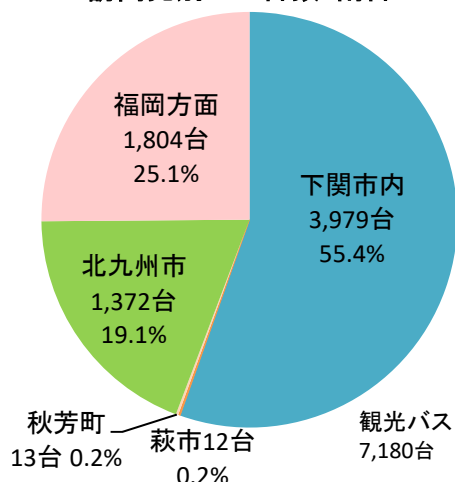


タクシー利用状況

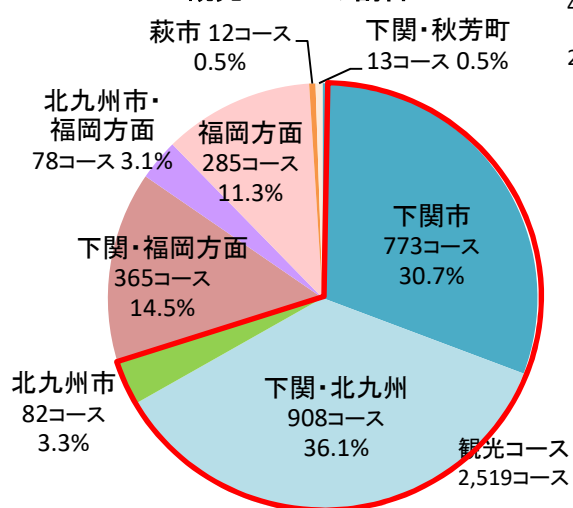
2-2. 下関港のクルーズ旅客の動向

- 平成29年に下関港に寄港したクルーズ船の観光客は、ツアーバスにより、下関市内、北九州方面、福岡方面、各地の免税店など、各方面の観光地へ行っている。
- バスのコース別では、下関市と北九州市に観光する割合が36%と最も多く、関門地区に終日滞在する割合は、約7割になる。
- また、団体ツアーに参加しない個人客の割合は、概ね5%程度である。

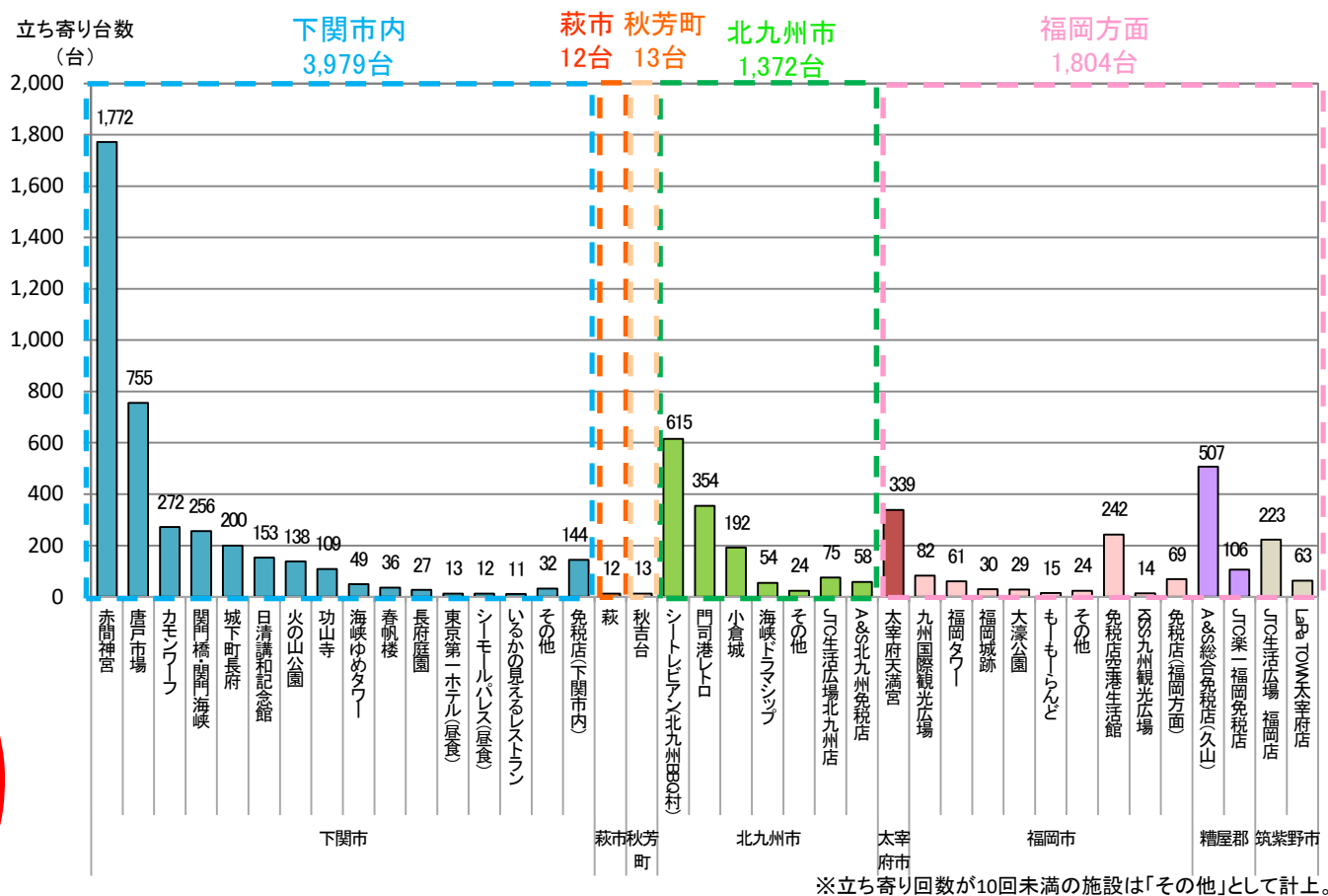
訪問先別バス台数・割合



観光コースの割合



平成29年下関港におけるクルーズ船寄港時の観光先別ツアーバス立寄台数



※立寄回数が10回未満の施設は「その他」として計上。

個人客の割合：約5%（全クルーズ旅客約107,000人）

※ツアーバス1台あたりの乗車人数を40人と仮定し算出

2-2. 下関港のクルーズ旅客の動向

○団体ツアーに参加しない個人客は、シャトルバスやタクシーを交通手段として利用している。

■ 団体ツアー客が多い場合(個人客が少ない場合)

(例)6/23 オベーション・オブ・ザ・シーズ寄港時

- ・全乗客数 4,473人 (乗組員 1,597人)
- ・団体ツアー客 90台
- ・シャトルバス 6台 10分毎に出発

長州出島⇒唐戸地区(あるかぽーと岸壁)⇒下関駅

■ 団体ツアー客が少ない場合(個人客が多い場合)

(例)5/22 オベーション・オブ・ザ・シーズ寄港時

- ・全乗客数 4,391人 (乗組員 1,637人)
- ・団体ツアーバス 50台
- ・シャトルバス 計13台

長州出島⇄唐戸地区(あるかぽーと岸壁) 10台(混雑時6分毎)
4台(通常時15分毎)

唐戸地区(あるかぽーと岸壁)⇄下関駅 3台 10分毎

オベーション・オブ・ザ・シーズ寄港時の
シャトルバス運行時刻表(6/23)

長州出島、下関駅(南口)、唐戸
地区(カモンワーフ)の各所に
案内板を設置

Ovation of the Seas Shuttle Bus						
23rd Jun 2018						
Shuttle Bus No.	Port (Choshu Dejima) [Departure]	20minutes	Kanoto area (Kamonaharf) [Departure]	10minutes	Shopping mall (Seamall) [Departure]	20minutes
1	10:30	⇒	10:50	⇒	11:00	⇒
2	10:40	⇒	11:00	⇒	11:10	⇒
3	10:50	⇒	11:10	⇒	11:20	⇒
4	11:00	⇒	11:20	⇒	11:30	⇒
5	11:10	⇒	11:30	⇒	11:40	⇒
6	11:20	⇒	11:40	⇒	11:50	⇒
1	11:30	⇒	11:50	⇒	12:00	⇒
2	11:40	⇒	12:00	⇒	12:10	⇒
3	11:50	⇒	12:10	⇒	12:20	⇒
4	12:00	⇒	12:20	⇒	12:30	⇒
5	12:10	⇒	12:30	⇒	12:40	⇒
6	12:20	⇒	12:40	⇒	12:50	⇒
1	12:30	⇒	12:50	⇒	13:00	⇒
2	12:40	⇒	13:00	⇒	13:10	⇒
3	12:50	⇒	13:10	⇒	13:20	⇒
4	13:00	⇒	13:20	⇒	13:30	⇒
5	13:10	⇒	13:30	⇒	13:40	⇒
6	13:20	⇒	13:40	⇒	13:50	⇒
1	13:30	⇒	13:50	⇒	14:00	⇒
2	13:40	⇒	14:00	⇒	14:10	⇒
3	13:50	⇒	14:10	⇒	14:20	⇒
4	14:00	⇒	14:20	⇒	14:30	⇒
5		⇒	14:30	⇒	14:40	⇒
6		⇒	14:40	⇒	14:50	⇒
1		⇒	14:50	⇒	15:00	⇒
2		⇒	15:00	⇒	15:10	⇒
Cruise ship						
Arrival Time			Departure time			
			9:30 16:30			



2-2. 下関港のクルーズ旅客の動向(下関市内観光地)



2-2. 下関港のクルーズ旅客の動向(長州出島から1時間圏内)

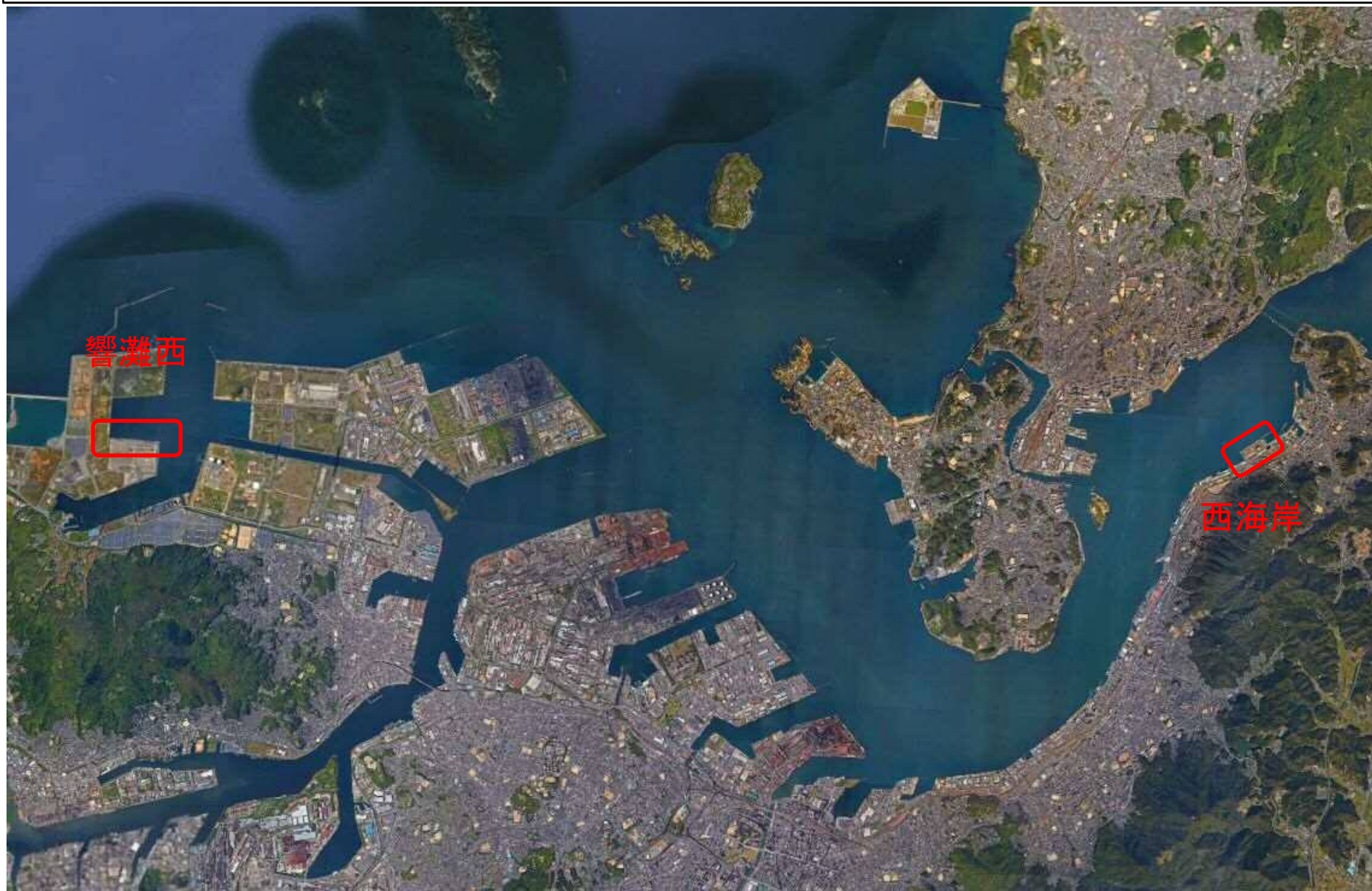


2-2. 下関港のクルーズ旅客の動向(長州出島から2時間圏内)



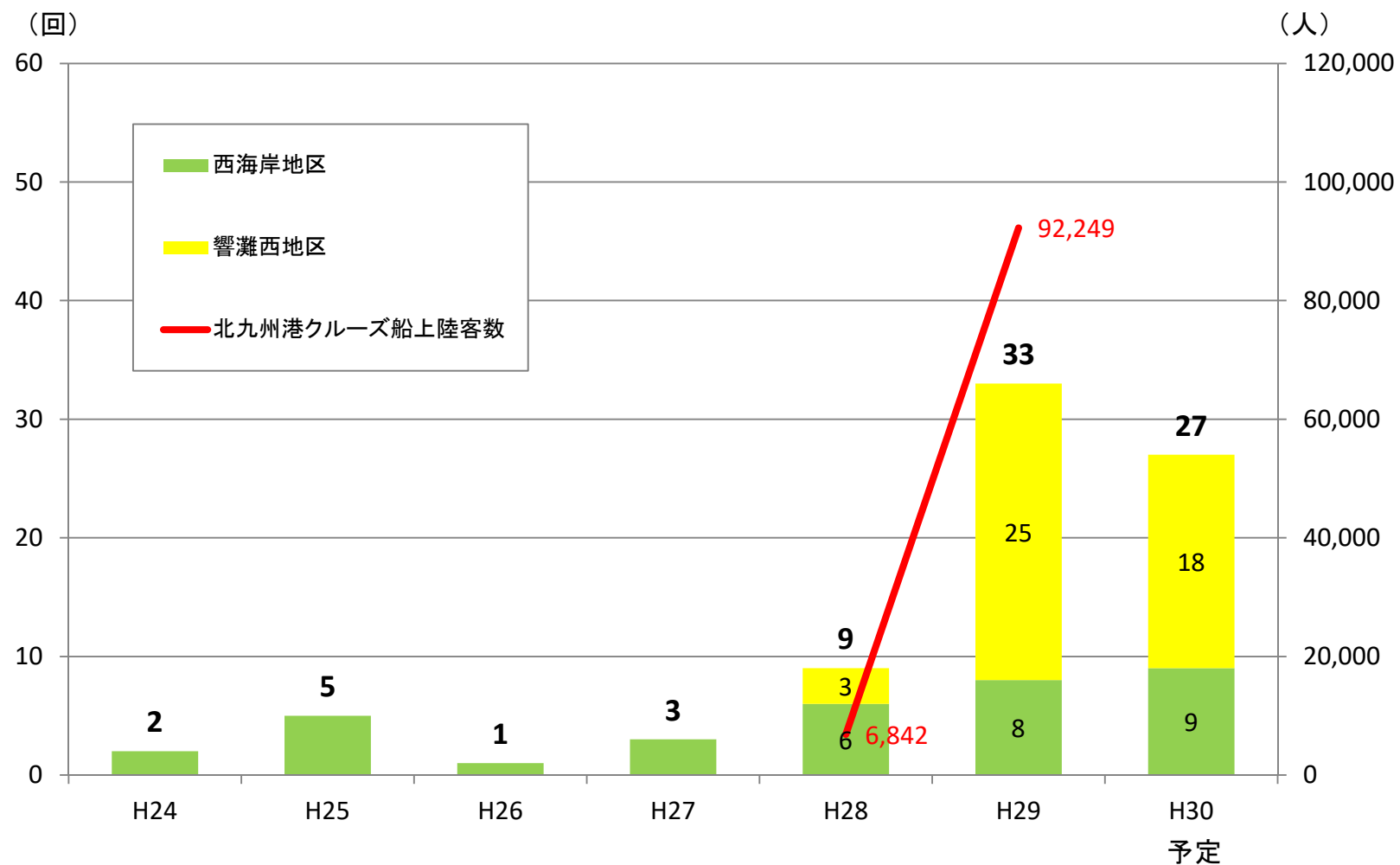
2-3. 北九州港のクルーズ客船寄港の動向

○北九州港のクルーズ客船の受入は、5万トンまでは西海岸地区、5万トン以上は響灘西地区（ひびきコンテナターミナル）において行っている。



2-3. 北九州港のクルーズ客船寄港の動向

○平成28年からひびきコンテナターミナルで受入を開始し、クルーズ船の寄港回数が急増している。



※クルーズ船上陸客数について、平成27年以前は不明

2-3. 北九州港のクルーズ客船寄港の動向

○一度に数千人規模のクルーズ客に対し、貸切バスやタクシー、シャトルバスで対応している。

平成30年のクルーズ客船寄港予定(平成30年6月20日時点)

北九州市HPより

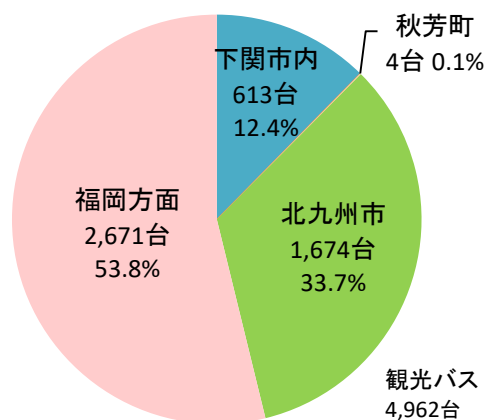
船名	総トン数(トン)	総乗客定員(人)	入港場所	入港予定日						
オペーション・オブ・ザ・シーズ	168,666	4,905	ひびき	6/27	8/3					
ノルウェー جان・ジョイ	167,725	4,620	ひびき	5/30	6/8	6/29	7/11	7/27		
コスタ・セレーナ	114,261	3,780	ひびき	4/25	7/6	8/8	10/5	11/2	11/30	12/28
コスタ・フォーチュナ	102,669	3,470	ひびき	6/1	8/17					
スーパースター・ヴァーゴ	75,338	2,800	ひびき	9/19						
グローリー・シー	24,782	1,300	西海岸	7/29	8/10	8/14	8/22			
チャイニーズ・タイシャン	24,427	927	ひびき	5/23						
にっぽん丸	22,472	524	西海岸	6/11						
ロストラル	10,944	264	西海岸	5/16	6/4					
シルバーディスカバラー	5,218	128	西海岸	4/14	4/21					

今年初寄港のクルーズ客船

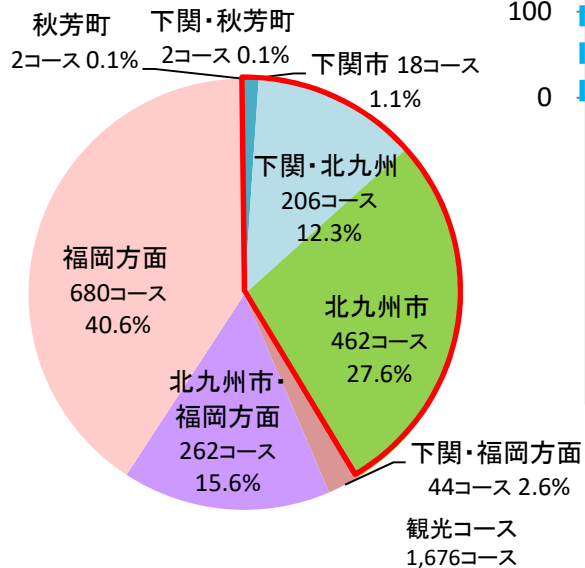
2-4. 北九州港のクルーズ旅客の動向

- 平成29年に北九州港に寄港したクルーズ船の観光客は、ツアーバスにより、北九州市内、福岡方面、下関方面、各地の免税店など、各方面の観光地へ行っている。
- バスのコース別では、福岡方面に観光する割合が41%と最も多く、関門地区に終日滞在する割合は、約4割である。

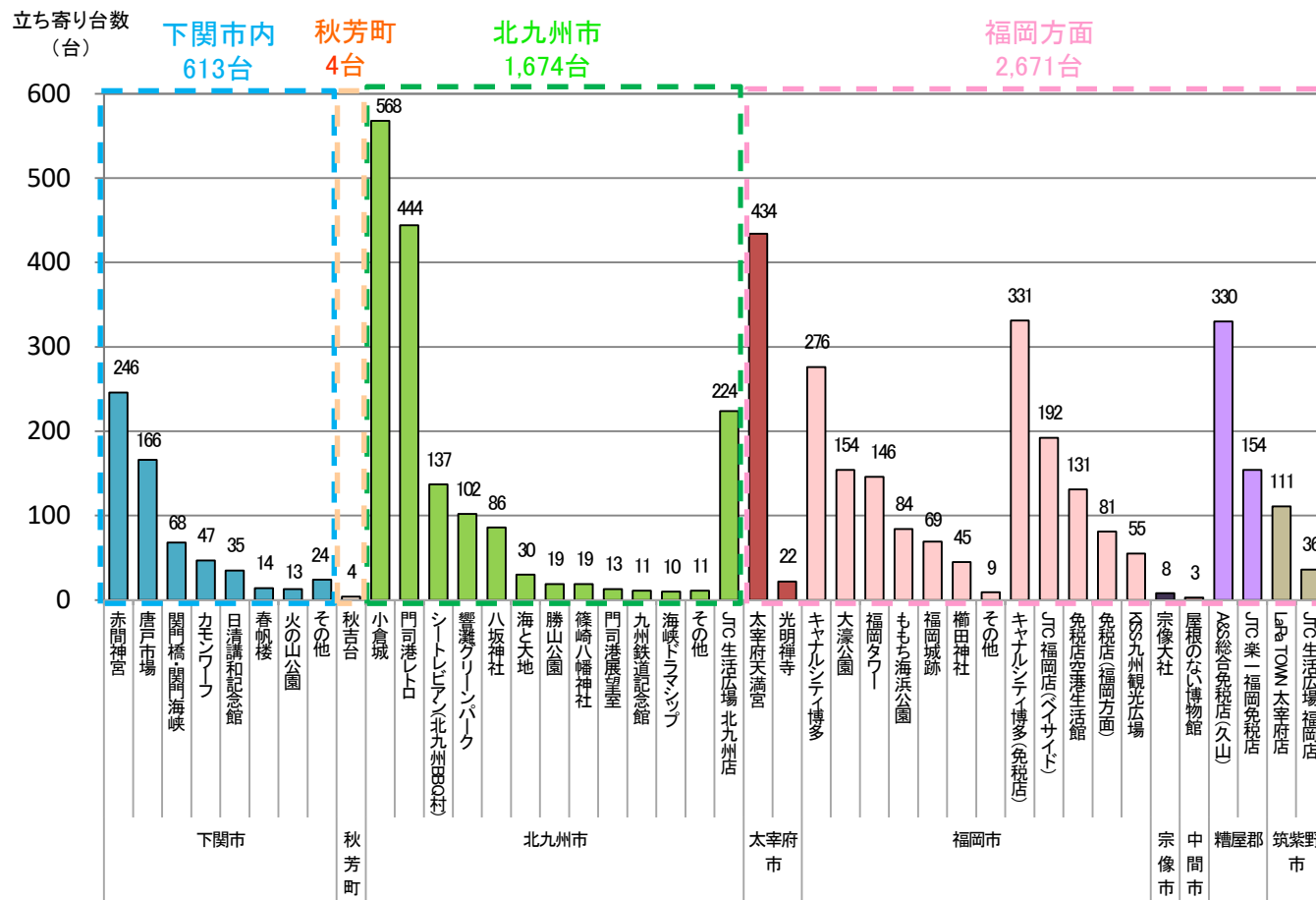
訪問先別バス台数・割合



観光コースの割合



平成29年北九州港におけるクルーズ船寄港時の観光先別ツアーバス立寄台数



※ツアーバス台数が判明しているものについて統計処理した。

※下関市、北九州市及び福岡市については、立ち寄り回数が10回未満の施設を「その他」として計上。

2-5. クルーズ旅客の交通手段としての水上交通の必要性・有用性

- クルーズ客の満足度を高めるためには、寄港地での速やかな移動が最も重要である。今後、個人のクルーズ客が増加することが予想される中、その円滑な交通手段の一つとして、水上交通の活用が期待される。
- また、関門地区は関門海峡をはじめ眺望に優れた地域であり、水上交通での移動により、海からの視点による新たな観光ニーズや魅力の発掘・認知にもつながることが期待される。

【クルーズ船寄港から下船までの手続、時間】

- ・クルーズ客船の乗客は下船のため、税関、出入国管理、検疫の手続きが必要。
- ・手続きに必要な時間は、ファーストポート如何や船の規模にもよるが、最大級のクルーズ客船(総乗客定員6,780人)の場合、最低2時間は必要。



4/20 クアンタム・オブ・ザ・シーズ寄港時の様子

【下船からバス・タクシー乗車まで(個人客の場合)の時間】

- ・クルーズ客船の乗客のうち個人客の観光地への移動手段は、シャトルバス(市または船社によるもの)やタクシーに乗車し移動する。
- ・個人客が多数の場合、乗車までに1時間程度かかることがある。



5/22 オベーション・オブ・ザ・シーズ寄港時
シャトルバス・タクシーを待つクルーズ客の様子

【陸上交通と水上交通による景観の違い】

(陸上移動)

- ・民家や商業施設等の街並み

(水上交通)

- ・海上から乗船してきたクルーズ船
- ・各地域の象徴となる建物(橋梁、タワー、工場群等)
- ・関門海峡を通過する様々な船舶(大型船、官公庁船)など非日常的な海上からの風景



海峡ゆめタワー



関門橋

2-6. 水上交通における他港事例

	A港(中国)	B港(九州)
実施日	平成28年3月14日(月)	①平成28年9月29日(木) ②10月3日(月)
クルーズ客船滞在時間	9:45～18:30	①7:00～20:00 ②7:00～18:00
内容	瀬戸内の美しい島々、歴史ある港町などを巡るオプショナルツアー A港発(12:50)～世界遺産《上陸観光》(13:20～16:20)～(船上から鳥居見学)～(島々)～A港着(17:00)	離島観光拠点へのシャトル運航(クルーを対象) 拠点から定期船によるイルカウォッチング、クルージング等 ①A港発10:30 離島発13:30 ②A港発9:30 10:30 離島発13:30
使用船舶	総トン数602トン、定員約160名	①総トン数19トン 定員75名 ②総トン数19トン 定員88名
事業主体	県の補助事業	県
クルーズ旅客数	4,473名	①4,762名②4,769名
ツアー乗客数	107名	クルーを対象 ①0名(地元住民8名)②3名(地元住民5名)
料金	10,000～15,000円/名	往復1,000円
結果(ツアーでの印象)	①ツアーでよかった点 世界遺産観光(約75%) ②瀬戸内クルーズでよかった点 島々の景観(約72%) 波穏やかな海(約23%) ③ツアー全体の印象 良い(約62%)、大変よい(約25%) ※アンケート聴取率49.5%(53名/107名)での結果	クルーの乗船客が少ない 地元住人にとっては、割安感あり
課題	瀬戸内クルーズツアー参加者のCIQ手続きを同時間帯で行うよう調整が行われていなかったため、参加者により約1時間の開きが発生し、参加者の一部からクレームが生じた。	・周知期間が短い ・観光地の認知度が低い ・クルーの下船時間が事前情報よりも遅い ・料金設定(1,000円では定員数乗っても赤字)

2-6. 水上交通における他港事例

※九州運輸局HPより抜粋

○八代港において実施予定の水上交通実証実験

九州運輸局、熊本県、地元自治体・地域団体及び船会社など官民関係者が連携し、八代港に寄港するクルーズ船や個人で熊本に訪れる外国人観光客を主なターゲットとして、天草や八代をはじめ、熊本を楽しんでもらうための着地型観光を目指す取組みを進めることとしています。

このような中で、国の「船旅活性化モデル地区」制度等を活用し、八代～天草を高速旅客船により短距離・短時間で結ぶ海上ルートを活用した実証事業を行うこととしており、同地域の周遊観光ツアー商品（イルカウォッチングやシーカヤック等を含む体験型ツアー）の造成やプロモーションを実施します。

「船旅活性化モデル地区」制度による支援観光利用のニーズが想定される航路があるエリアについて、事業者の創意工夫による観光振興に資するべく「船旅活性化モデル地区」に設定。

同地区においては、旅客船事業の規制運用を弾力化するもの（本事業においては、不定期航路事業における運航回数制限について同一航路の運航は年間3日以内とされているところを柔軟化）。

なお、本事業は地域団体や地元自治体を中心となって着地での観光客の受入環境を整備するものであることから、「広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業」による補助制度の活用も検討している。

①実施区間 八代～松島間

②実施期間 平成30年6月～12月の8日間程度

運航予定日 8月20日、9月20日、10月16日、18日、22日
11月19日、20日、21日

③運航事業者 ㈱シークルーズ

④運航船舶 セレナ（19トン：旅客定員59人）

⑤運賃 片道1,000円

⑥旅行商品等 航路運賃、二次交通及び観光地へのツアー等と組み合わせてパッケージ化した旅行商品（イルカウォッチングやシーカヤック等を含む体験型ツアー）についても販売される予定

<高速旅客船 航路図>



地図データ©2018 Google、ZENRIN

3-1. 関門地区を航行する定期旅客船の運航状況



3-1. 関門地区を航行する定期旅客船の運航状況

自治体	下関市		下関市・北九州市	北九州市	
航路略称	①六連島航路	②巖流島連絡船 (唐戸側)	③関門連絡船	④巖流島連絡船 (門司側)	⑤小倉航路
ルート	下関漁港竹崎～六連島	唐戸～巖流島	唐戸～門司	門司～巖流島	浅野～馬島～藍島
距離	約5.9km	約2.8km	約1.9km	約3.3km	約14km
所要時間	20分	10分	5分	10分	馬島まで22分 藍島まで35分
運行本数	4～5便/日	40分おき	20分おき	40分おき	3便/日
船舶諸元	49トン	19トン	19トン	19トン	95トン
乗船定員	80人	70～120人	70～120人	70～120人	150人
料金 (大人/小人)	370円/190円	800円/400円 (往復)	400円/200円	800円/400円 (往復)	小倉～藍島:400円/200円 小倉～馬島:280円/140円 馬島～藍島 120円/60円
運航事業者	下関市	関門汽船(株)	関門汽船(株)	関門汽船(株)	北九州市

3-1. 関門地区を航行する定期旅客船の運航状況(船舶関係)

六連丸



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
49トン	24.1m	5.2m	12ノット	11.5ノット	80名

がんりゅう



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
19トン	18.9m	4.36m	25ノット	16ノット	120名

こくら丸



総トン数	全 長	幅	速力	乗船定員
95トン	27.8m	5.6m	19ノット	150名

しいがる



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
19トン	16.5m	4m	24ノット	16ノット	70名

3-1. 関門地区を航行する定期旅客船の運航状況(船舶関係)

かんもん



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
19トン	19.3m	4.38m	25ノット	16ノット	120名

大海(たいかい)



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
19トン	16m	4.4m	26ノット	16ノット	89名

わかば



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
19トン	16m	4.48m	21.7ノット	16ノット	99名

SANTA



総トン数	全 長	幅	最大速力	航海速力	乗船定員
9.1トン	12m	3.14m	18ノット	16ノット	50名

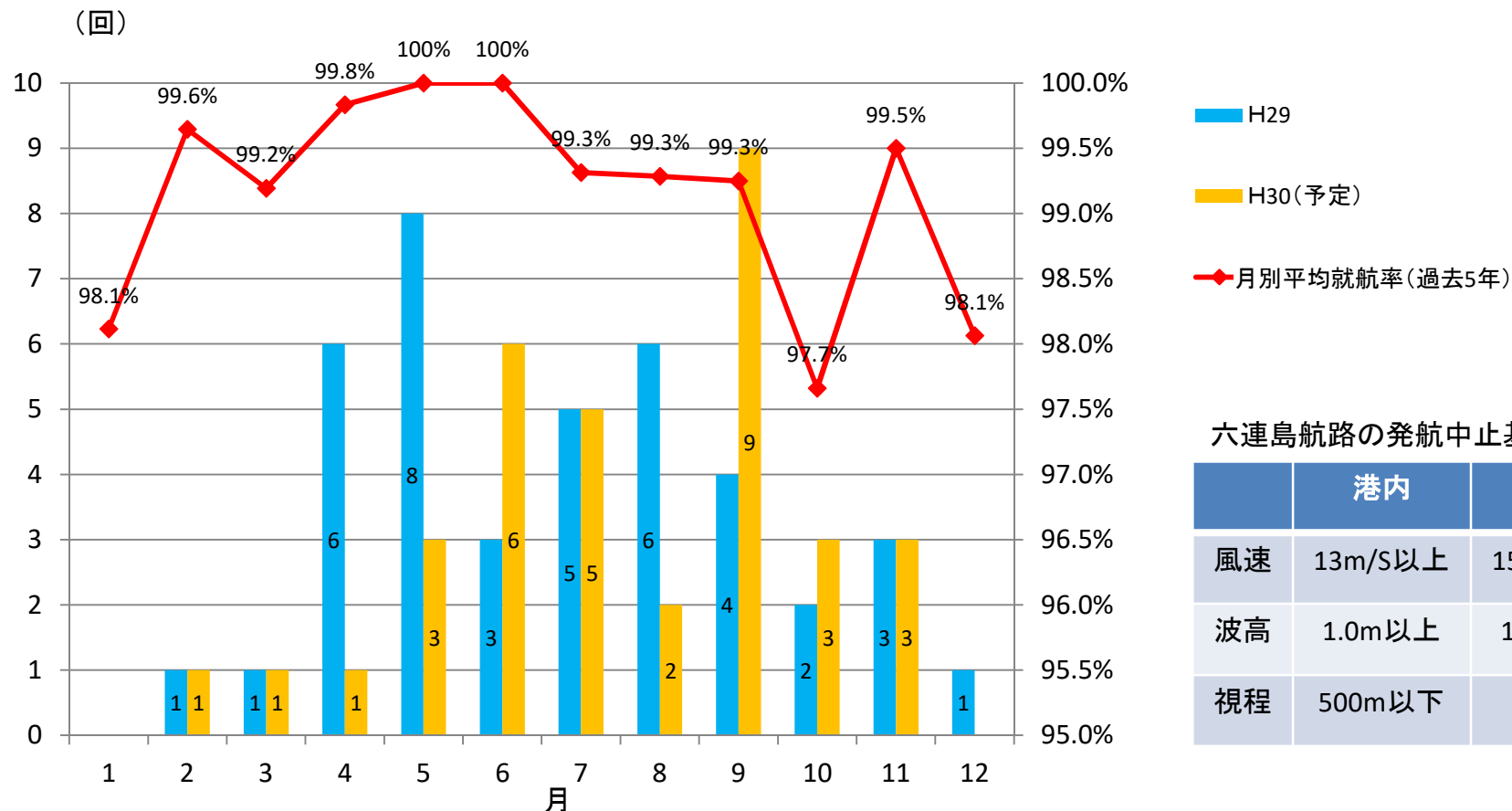
※不定期航路

3-1. 関門地区を航行する定期旅客船の運航状況(六連島航路の運航状況)

○長州出島に近接する六連島航路は、就航率が高い。

○日本海側からの風浪により就航率が下がる冬季においては、クルーズ船の寄港回数も他の季節と比べると少ない。

六連島航路の就航率とクルーズ寄港回数(月別)



六連島航路の発航中止基準

	港内	航路
風速	13m/S以上	15m/S以上
波高	1.0m以上	1.5m以上
視程	500m以下	—

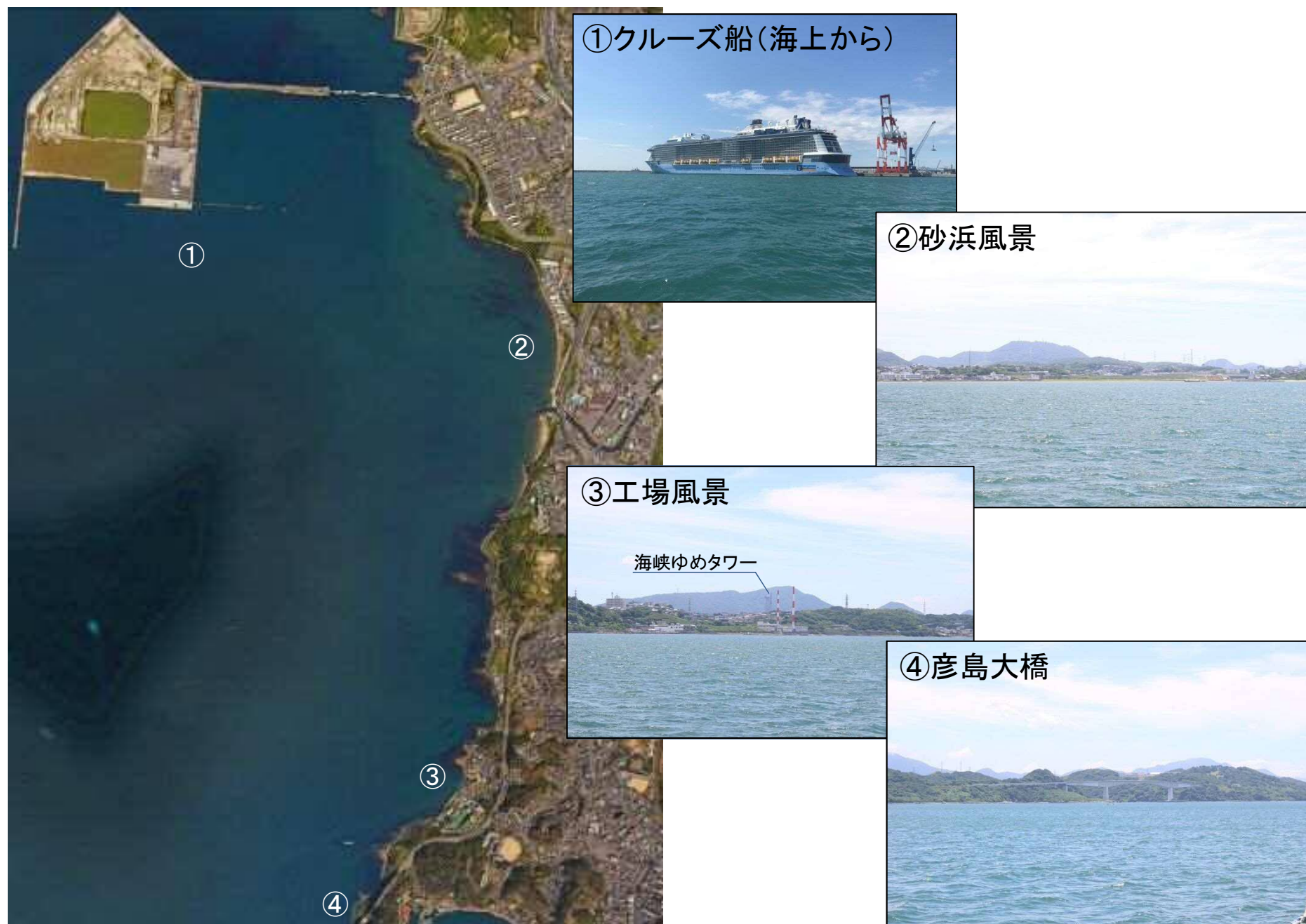
※就航率はH25～H29の各月平均就航率

※クルーズ船寄港回数は長州出島の寄港回数

3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力



3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(長州出島～彦島大橋)



3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(彦島大橋～下関漁港)



②漁港入口(造船所)



③漁港



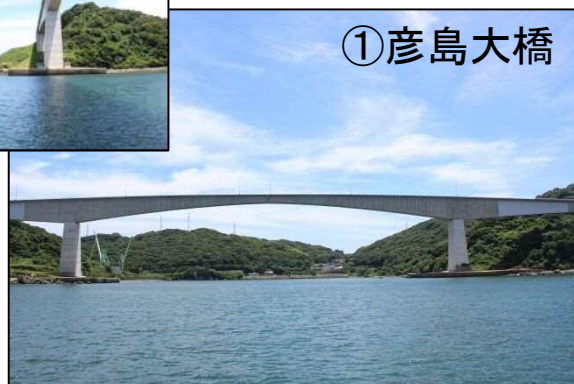
④漁港と街並み



⑤街並み



①彦島大橋



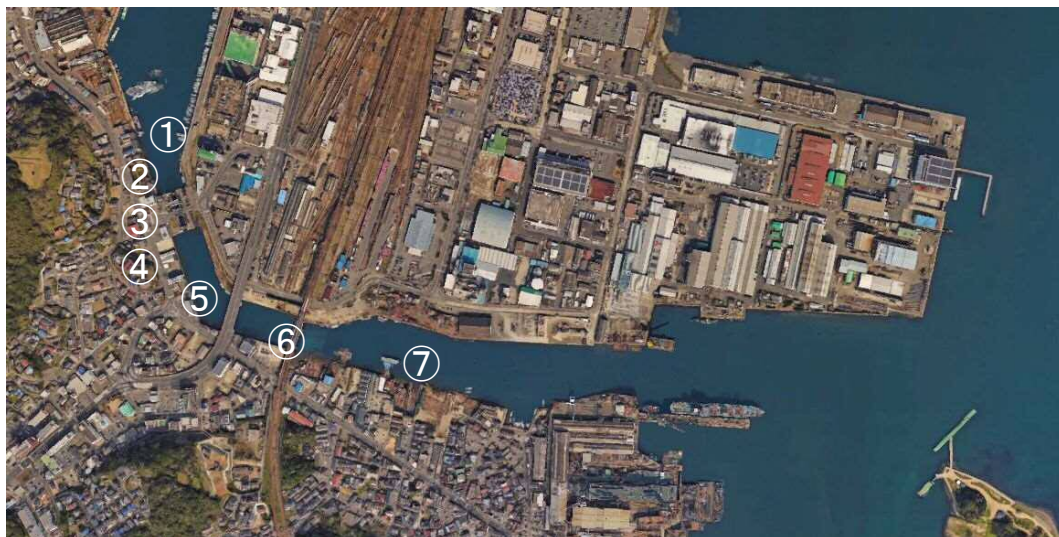
⑥船舶風景



⑦水門



3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(下関漁港水門～運河)



水門通行時刻

8:50～10:50	12:20～13:50	15:10～16:30
------------	-------------	-------------

⑤関彦橋(県道250号)



⑥JR高架



①水門(漁港側)



③水門内



②水門内



④水門(運河側)



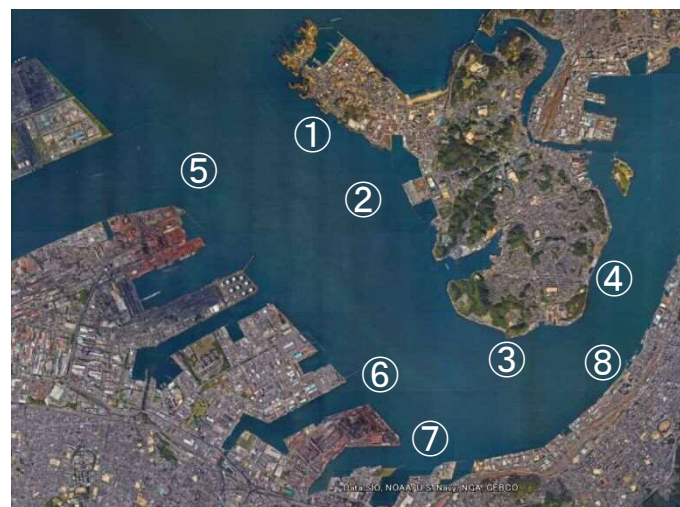
⑦運河風景(三菱造船)



3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(六連島～馬島～竹の子島)



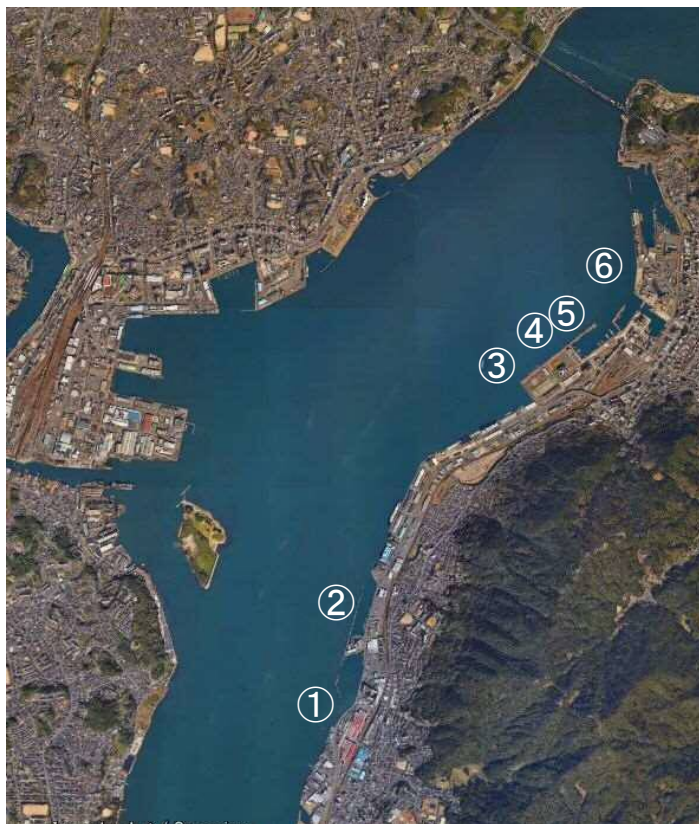
3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(関門海峡沿い)



3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(巖流島～あるかぽーと～関門橋)



3-2. 水上から眺める長州出島周辺及び関門地区の魅力(門司港～西海岸～)



①街並み



②街並み



③西海岸



④門司港



⑤門司港



⑥門司港(倉庫群)



3-3. 想定される水上交通ルート



3-4. 想定される水上交通ルートに係る概要と課題

各ルート

	ルート①	ルート②	ルート③	ルート④	ルート⑤
ルート概要	長州出島～下関漁港	長州出島～巖流島	長州出島～唐戸	長州出島～門司港	長州出島～小倉
所要時間	約20分	約60分	約70分	約70分	約40分
海上観光 (見えるもの)	・クルーズ船海上風景 ・彦島大橋 ・漁港風景 ・水門(オプション)	・クルーズ船海上風景 ・北九州工場風景 ・大型船舶近接 ・関門海峡	・クルーズ船海上風景 ・北九州工場風景 ・大型船舶近接 ・関門海峡	・クルーズ船海上風景 ・北九州工場風景 ・大型船舶近接 ・関門海峡	・クルーズ船海上風景 ・北九州工場風景 ・大型船舶近接
上陸後の1次観光地 (最寄り)	・JR下関駅ビル ・下関大丸・シーモール ・海峡タワー	・巖流島観光	・唐戸地区(赤間神宮、唐戸市場、カモンワーフ、あるかぽーと)	・門司港レトロ	・ショッピング(免税店等) ・小倉城
2次観光地	・バス、タクシーによる唐戸地区周辺観光 ・JR利用による遠隔地	・連絡船による唐戸地区・門司港観光	・連絡船による巖流島、門司港観光 ・JR下関駅ビル ・下関大丸・シーモール ・海峡タワー	・連絡船による唐戸地区、巖流島観光	・JR利用による遠隔地
課題	・利用頻度の設定 ・バスやタクシーの駐車スペースの確保 ・六連島航路との運航調整 ・商業施設へのルート明示 ・採算性	・乗船時間が長い ・連絡船との運航調整 ・利用頻度の設定 ・採算性	・乗船時間が長い ・連絡船との運航調整 ・利用頻度の設定 ・採算性	・乗船時間が長い ・連絡船との運航調整 ・利用頻度の設定 ・採算性	・小倉航路との運航調整 ・利用頻度の設定 ・採算性

4-1. 水上交通を実現するための課題(案)

1. ニーズ及びサービス面の課題

- ✓ 水上交通に対するニーズ(対象とするクルーズ客など)
- ✓ クルーズ客の利用しやすい「運航頻度」、「運航料金」、「運航ルート」
- ✓ 水上交通情報についての効果的な「周知方法」
- ✓ 水上交通を活用した魅力的な観光回遊ルートの提案・発信と観光地との連携

2. 運航面の課題

- ✓ 安定的な乗船率を確保するための対策
- ✓ 気象状況等に伴う欠航時の対応

3. 施設面の課題

(1)長州出島

- ✓ 水上交通が可能な施設(船着場)の配置・整備
- ✓ 船着場までのアクセス
- ✓ 船着場の周知方法

(2)各棧橋

- ✓ 船着場から観光地へ行くための交通手段(バス・タクシー)を確保するための駐車スペースの確保

4. 船着場から背後地・観光地へのアクセス

- ✓ 船着場での魅力的な観光(竹橋棧橋の場合、下関漁港等との連携等)
- ✓ 船着場から観光地へ行くための交通手段の確保(バス・タクシー)
- ✓ レール&クルーズの可能性

4-2. 今後のスケジュール

平成30年度

8月2日 第1回検討会

- ・長州出島から関門地区への水上ルートについて
- ・論点と今後の進め方

9月 第2回検討会

- ・講演：「日本に求められる上質なクルーズと水上交通の可能性について」（仮）
（講師：ホーランドアメリカ 市川紗恵ディレクター）
- ・プレ調査の実施内容案について

10月～11月 プレ調査

- ・調査方法の概要（案）（今後要検討）
 - ☆対象者：旅行関係者、クルーズ関係者（クルー等）ほか
 - ☆調査回数：2回程度
 - ☆調査方法：アンケート・ヒアリング等
 - ☆調査内容：クルーズ客による水上交通のニーズ、水上交通の満足度、魅力的なサービスとするための工夫 ほか

2月 第3回検討会

- ・プレ調査結果の検証



平成31年度

- ・試験的なサービスを検討（目標）

(参考)各航路の状況

六連島航路

下関漁港			
六連島			

(参考)各航路の状況

唐戸・門司港・巖流島

唐戸			
門司港			
巖流島			

(参考)各航路の状況

小倉航路

小倉			
藍島			
馬島			